別紙-3③

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考查項目 工 種 3.出来形 🛘 フィルダム工事 📗 🖂 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 👚 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 🗎 🖫 品質関係の測定方法 🖂 品質関係の測定方 及び (農林) 又は測定値が不適切で 法又は測定値が不適 ※ ばらつきの判断は別紙 - 7参照。 出来ばえ あったため、監督職員 切であったため、検 ●評価対象項目 が文書で指示を行い改 査職員が修補指示を □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 Ⅱ. 品質 善された。 行った。 □ 材料の品質規定証明書が整備されている。 □ 基礎処理施工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い適切に実施されている。 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 □ 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の □ 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。 値で評価する。 ③ 評価値(%) = 評価数()/対象評価項目数() □ 気象条件を考慮した施工が確認できる。 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 □ 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶりは工事図面に示されたとおり施工している。 □ コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。 □ その他 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 理由: 判断不可能 50%以下 80%以下 80%を超える 90%以上 a' h h 75%以上 90%未満 h' b b' 60%以上75%未満 b h' 60%未満 h' C ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。 b' コンクリート 🗆 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 🖵 品質関係の測定方法 🖂 品質関係の測定方 ダムエ事 又は測定値が不適切で 法又は測定値が不適 ※ ばらつきの判断は別紙 - 7参照。 (農林) あったため、監督職員 切であったため、検 ●評価対象項目 が文書で指示を行い改 査職員が修補指示を □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 善された。 行った。 □ 材料の品質規定証明書が整備されている。 □ 基礎処理施工要領書等に示された規定に従い適切に実施されている。 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 □ 型枠、支保工の取り外しに関して管理されている。 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率 □ 鉄筋の組立及び継ぎ手部が示方書、仕様書等に定められたとおり施工されている。 (%) 計算の値で評価する。 □ スペーサーを適切に配置し鉄筋のかぶりを確保している。 ③ 評価値(%) =評価数()/対象評価項目数() □ 施工に先立ち配合試験を行い、コンクリートの品質向上に取り組んでいる。 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 □コンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 気象条件に適した運搬、打設、締め固めを行っている。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで □ 特殊コンクリートの施工に当たって施工条件を遵守し実施している。 □コンクリートの打ち継ぎ部の処理が、仕様書等の規定に従い適切に実施されている。 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 □ モッコン跡からの漏水がない。 90%以上 b □ クラックの発生がない。 a' 75%以上 90%未満 b b' b' □ コンクリートの打設方法(リフト差、リフト高)が確認できる。●判断基準 60%以上 75%未満 b' b □ コンクリートの現場養生は、仕様書の規定に従って適切に実施されている。 b' □その他 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

(検査員)

別紙-33

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	エ	種	а	a '	b	b'		С		d	ı	е	
3. 出来形	コンクリー	k	□ 品質関係の試験結果のばらつ	・ は準、その他設計図書に定	その他設計図書に定められた試		の測定方法 🗆	品質関係の測定方					
及び											が不適切で 法	又は測定値が不適	
出来ばえ	二次製品工		※ ばらつきの判断は別紙 - 7 参			あったため、監督職員 切で		であったため、検					
	(U字溝、	BF等付	●評価対象項目 □仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 □ 材料の品質規定証明書が整備されている。								示を行い改 査	職員が修補指示を	
Ⅱ. 品質	帯的なもの	を除く)								善された。		った。	
	·L型												
	・ボックス			施工基面が平滑に仕上げられている。									
	カルバー	- k	· · · · · · · · · · · · · · · · ·					i該「評定対象項目」のう	ち、対象とした	ない項目は削除する。			
		・プロック積み □ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 □ 護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。						② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。					
	(農林)		□ コンクⅡ - ト基浩物にきめ細かた施工がらかがえる						値 (%) = 評価数 () /対象評価項目数 () 。 、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				
			□ 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ④ なお、削除後の評価対象項目数か 2 項								、し評価とす	්	
		口その他											
			理由:	理由:				●判断基準	14	らつきで判断	新可能	ばらつきで	
								●口刷至十			80%を超え	aladalar — — Ak	
									50%以下			2	
							評		а	a'	b	b	
							1 位	1370 5人工 3070 不 周	a'	b	b'	b'	
							115	60%以上75%未満	b	b'	С	С	
								60%未満	b'	С	С	С	
					※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目								
		(評価値) だけで評価											
	区画整理工	- 重	а	a'	b	b'		С		d	ı	е	
		- 77*	□ 品質関係の試験結果のばらつ	きと評価対象項目の履行状況(評価値	⑤ から判断する。<判断基準参照>	「関連基準、土木工	事施工管理基	・ 準、その他設計図書に定	められた試	□ 品質関係	の測定方法 🏻	品質関係の測定方	
	(農林)									又は測定値が不適切で 法又は測定値が不適			
										あったため、監督職員 が文書で指示を行い改		であったため、検	
		●評価対象項目										職員が修補指示を	
			□ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。							善された。	行	った。	
			□ 材料の品質規定証明書が整備されている。										
										ļ			
			□ 地区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態で施工している。 □ 濁り等の防止に十分留音して施工している。 ① 当該「評定対象項目」のうち、3							象としたい項	日け削除する		
			L B / TOWNER TO BE OF THE CONTROL OF						目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率				
			□ 右蝶、板体等の除去は任徳者に足められたとおり表施されている。 □ 表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立、基盤整地、表土整地は、仕様書及び設計図書により施工されている。 (%) 計算の値で						価する。				
			□ 進入路について耕作に支障がないように施工されている。							,		´ .	
			□ 塩大品について研作に文庫がないように施工されている。 □ 暗渠排水工は仕様書及び設計図書により施工されている。 □ 電渠排水工は仕様書及び設計図書により施工されている。							2項目以下の	場合は、C評	価とする。	
			□用・排水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を考慮して施工されている。										
			□用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられている。						ば	ばらつきで判断可能		ばらつきで	
			□ 用・排水路の法面のとおりが	よい。					50%以下	80%以下	80%を超え	る 判断不可能	
			□ 構造物側面の埋め戻しについ	ては、仕様書で示す条件により締め固	目めが実施されている。		===	90%以上	а	a'	h	b	
			□ 護岸等の根入れが図面どおり	実施されていることが確認できる。			征		a'	b	b'	b'	
			□ 二次製品との取り付け部コン	クリート構造物にきめ細かな施工がご	うかがえる。		値	1370以上 3070不凋					
		□ 二次製品の吊り込み、据え付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。						60%以上 75%未満	b	b'	С	С	
								60%未満	b'	С	С	С	
			理由: ※ 試験結果の打点数等が少なくし							ざらつきの判断	断ができない場	場合は評価対象項目	
	ī		İ		(評価値)だけで評価する。								

(検査員)

別紙-333

〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

b' 考查項目 工 種 С 3. 出来形及び 暗渠排水工事 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又は □ 品質関係の測定方法又は [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙 - 7参照。 出来ばえ (農林) 測定値が不適切であったた 測定値が不適切であったた ●評価対象項目 め、監督職員が文書で指示 め、検査職員が修補指示を Ⅱ. 品質 を行い改善された。 行った。 □ 管路の敷設位置が適切である。 □ 管路の接続が適正に施工されている。 □ 吸水渠、集水渠等の埋設深管理が適切に施工されている。 □ 軟弱地盤等で暗渠排水工の効果が阻害されるおそれがある箇所について、阻害防止の工夫が措置されている。 □ 被覆材が管路を中心に適切に施工されている。 □ 溝底部が凸凹蛇行のないよう施工されている。 □ 水閘及び集水渠部等の埋め戻しが入念にされている。 □その他 理由: ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 評価数 () /対象評価項目数 () ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 ばらつきで判断可能 ばらつきで ●判断基準 判断不可能 80%以下 80%を超える 50%以下 90%以上 a' b а b' 75%以上 90%未満 a' b b' 60%以上 75%未満 b b' С С 60%未満 b' ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

(検査員)

別紙-3 34

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 (検査員) h' 考查項目 工 種 3. 出来形及び 海岸防災林造成工事 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又は □ 品質関係の測定方法又は [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙 - 7 参照。 出来ばえ 測定値が不適切であったた (農林) 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 め、検査職員が修補指示を ●評価対象項目 Ⅱ. 品質 【防風工】 を行い改善された。 行った。 □ 防風工の法線の位置、施工基盤高、間隔等を施工前に監督員と協議して施工したことが確認できる。 □ 構成資材の品質、規格が設計図書どおりであることが確認できる。 □ 杭木の建込みは設計図書どおりの根入れで十分締固めながら埋め込んだことが確認できる。 □ 構成材の取付けは設計図書どおりの方法で緊結が強固に行われている。 □ 横木の接続が適切に行われている。 □横木の間隙がムラを生じないよう取り付けられた。 □ 杭木の地上高、間隔、横木の配置が設計図書どおりであることが確認できる。 □その他 【静砂工】 □静砂工の区画配置等を施工前に監督員と協議して施工し、地形に合わせて施工されたことが確認できる。 □竹杭の建込みは設計図書どおりの根入れで十分締固めながら埋め込んだことが確認できる。 □ 構成材の取付けは設計図書どおりの方法で緊結が強固に行われている。 □ 竹簾の下部は設計図書どおり埋め込み、突き固めされたことが確認できる。 □ 竹杭の地上高、間隔、竹簾の地上高が設計図書どおりであることが確認できる。 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 □ その他 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。 【植栽工】 ③ 評価値 (%) = 評価数 () / 対象評価項目数 () □ 苗木、土壌改良材、肥料等の規格が設計図書どおりであることが確認できる。 □ 植栽前の施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 □ 植穴の径、深さが設計図書どおりであることが確認できる。 □ 植栽前の仮植の方法等乾燥を防ぐ配慮がなされている。 □ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対して □ 肥料、土壌改良材の投入方法等が設計図書どおりであることが確認できる。 は有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※別紙-7を参照 上記該当あれば・・・・・・c □ 埋めわらの配置、埋設深さ、布設方法が適格であることが確認できる。 □ 敷きわらの布設方法が適格であることが確認できる。 ばらつきで判断可能 ばらつきで □ 砂草植え付けは案内棒等で植付け穴を作り根を深く埋め込んだことが確認できる。 ●判断基準 80%以下 80%を超える 判断不可能 50%以下 一 その他 理由: b 90%以上 а a' h 75%以上 90%未満 a' b' 60%以上 75%未満 b b' b' 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

別紙 - 335

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 (検査員) b' I $\langle A \rangle$ 優れている bより優れている やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない 3. 出来形及び出来ばえ 上記以外の工事 □ 品質関係の測 □ 品質関係の測 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 11. 品質 定方法又は測定値 定方法又は測定値 (B) [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙 - 7参照。 が不適切であった が不適切であった ため、監督職員がため、検査職員が ●評価対象項目 文書で指示を行い 修補指示を行っ 改善された。 理由: -理由: -理由: -理由: 理由: ●判断基準 < B > 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 < A > 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 e x)取壊し工等 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ※ 評価値が90%以上・・・・・・・・・a ③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ※ 評価値が80%以上90%未満 ・・・・・・a' ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 ※ 評価値が70%以上80%未満 ・・・・・・ b ※ 評価値が60%以上70%未満 ・・・・・・b' ※ 評価値が60%未満 ・・・・・・・・c ばらつきで判断可能 ●判断基準 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。 50%以下 80%以下 80%を超える 90%以上 価 75%以上90%未満 a' b b' 60%以上 75%未満 b' b С 60%未満 b'

С

С